

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                         |    |        |    |
|----------------|-------------------------|----|--------|----|
| ○事業所名          | A to Z Academy 児童発達支援   |    |        |    |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年8月20日 ～ 2025年8月31日 |    |        |    |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                  | 16 | (回答者数) | 11 |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年8月20日 ～ 2025年8月31日 |    |        |    |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                  | 5  | (回答者数) | 5  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年9月1日               |    |        |    |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                  | さらに充実を図るための取組等                                   |
|---|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 1 | お子様一人ひとりの特性に応じた支援を行い、専門職員が工夫を凝らして対応しております。 | 職員それぞれの意見を尊重しながら、療育プランの企画・立案を積極的に進めています。               | お子様の変化を円滑に伝えられる環境づくりを継続し、些細な変化も共有できる体制を整えてまいります。 |
| 2 | 保護者様との密な連携を通じて、お子様の変化に迅速に対応できる体制を構築しています。  | 保護者様同士が気軽に話し合える関係性の構築を大切にし、些細なことでも相談しやすい環境づくりに努めております。 | 意思疎通の機会を増やすため、情報共有システムの活用を強化しております。              |
| 3 | 学校や関係機関との連携を図り、支援体制の充実に努めております。            | 送迎時には、可能な限り園の先生方との情報共有を行い、連携を深めています。                   | 他事業所を併用されているお子様についても、必要に応じて事業所間の連携を強化しております。     |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること       | 事業所として考えている課題の要因等                                                             | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                  |
|---|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 1 | 設備面では、規模の大きな事業所ではございません。                         | スペースの使い方によっては、やや手狭に感じられる場合がございます。                                             | 指導訓練室を有効に活用し、子どもたちが活動しやすいようスペースの割り振りを工夫しております。                        |
| 2 | ご家庭同士が交流できる機会が少ない状況です。                           | 就労されている保護者様が多く、同日にお集まりいただく機会の確保が難しい状況ですが、今後はイベント等を通じて交流の機会を創出してまいりたいと考えております。 | 各ご家庭の状況に応じた情報共有を行い、保護者様への支援に努めてまいります。                                 |
| 3 | 放課後等デイサービス卒業後の成人期に向けた支援についても、今後の重要な課題として捉えております。 | 障害児通所支援事業においては、お子様への支援を最大限行っておりますが、現時点では就労支援まで継続的なサポートを行う体制が整っていません。          | 現在、就労移行支援事業所の運営は行っておりませんが、将来的な開所を検討しており、成人後も継続的な支援ができる体制づくりに努めてまいります。 |